

【公開質問状】

2025年8月19日

350-1137

埼玉県川越市砂新田97-5

S & T A 棟 102号室

一般社団法人

日本シェパード犬登録協会（JSV）

会長 山口 正 様

615-0835

京都市右京区西京極堤下町30

ドイツシェパード犬協会日本連盟

（JPDS）

会長 大日方健司

当連盟はこれまで、2025年6月25日付
および7月16日付の通知書にて、貴協会主
催の展覧会や競技会で、SV/WUSV/F
CIが公認していない無資格審査員による審
査が繰り返し行われている事実を指摘し、そ
の是正を強く求めてきました

しかしながら、貴協会からは明確な事実確認
も具体的な改善策も一切示されず、この問題

は今日に至るまで放置されたままです。そのため2025年7月14日をもって貴協会に対して正式に発効された「WUSV関連活動に関する資格停止措置」は現在も有効に継続しております

ここで、あらためて看過できない重大な矛盾を指摘いたします

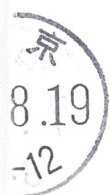
2016年2月5日付で発表され、現在に至るまで貴協会公式ホームページに掲載されている「日本単課目訓練ジーガー競技会出場資格等について」という声明において、貴会長は次のように明言しています

【決定的矛盾】

「審査をIPOの競技に関しての資格がない当協会の審査員に委ねる訳にはまいりません」

この言葉は、無資格審査員による審査を一切容認しないという断固たる意思表示であり、貴協会自らが公式に示した不変の原則です

ところが現実には、JSV審査員会のメンバ

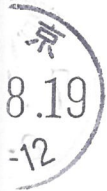


一が結託し、無資格でありながら自己の欲求を優先して審査を行い、協会の進むべき正しい方向を大きく歪めてきました。その結果、日本の犬界は長年にわたり健全な発展を阻まれ続けてきたのです

事実として、2025年5月17～18日に開催された「日本訓練ジーガー競技会」をはじめ、各地で行われたイベントにおいても、SV/WUSV/FCIが認めていないJSV本部審査員による審査が実施されています

さらに、今後も同様の運営が予定されていることが、貴協会の会報や公式ホームページにおいて明らかにされています。これは、貴協会自らが声明で示した原則と真っ向から矛盾し、会員および出陳者の信頼を裏切る深刻な行為であり、その実態は無資格審査員によって繰り返し行われているのです

加えて、貴協会はJPDS（すなわちWUSV）に加盟していながら、本来付与すべき訓練資格を一切付与していません。その最大の理由は、貴協会の審査員が「訓練資格を付与できない立場」にあることに尽きます。それにもかかわらず、この事実を「訓練資格を付



与すること等一切ありません」と言い換えて問題をすり替え、真実を意図的に覆い隠しています

率直に申し上げれば、貴協会はS V / W U S Vが定める規則を無視し、事実を隠蔽しながらもなおW U S V加盟団体であり続けようとしています。そのような姿勢は本質的に矛盾しており、国際組織の一員として断じて容認できるものではありません

つきましては、次の点について公開の場で速やかに明確な回答を求めます

記

1. 現在も公式ホームページに掲載されている上記声明は、貴協会にとって現行の公式見解ですか
2. もし現行の見解であるなら、その内容と正反対の無資格審査を強行している理由は何ですか
3. もしこの声明が無効化されているのであれば、いつ、どのような理事会決議によって



無効化されたのか。その経緯と会員への告知方法を具体的に示してください

右
7.
8.

4. 資格を持たない審査員による評価が血統書や繁殖適格性に影響する場合、貴協会は会員や出陳者に対して、いかなる説明責任を果たすつもりですか

上記質問については、既通知書で未回答となっている事項も含め、2025年8月29日（金）までに、責任者の署名または押印を付し、日付を明記した書面（PDFを含む）による明確かつ具体的な回答を提出されるよう強く要求します



なお、本質問状は透明性を確保するため、J P D S 公式ホームページにおいて全文を公開いたします

京
7.19
12

以上

6 1 5 - 0 8 3 5

京都市右京区西京極堤下町 3 0

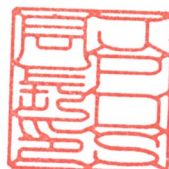
ドイツシェパード犬協会日本連盟

（ J P D S ）

会長 大日方健司

この郵便物は令和 7 年 8 月 19 日
第 56290 号書留内容証明郵便物として
差し出されたことを証明します。

日本郵便株式会社



右京
7.8.19
8-12

郵便認証司
7. 8.19